

内部評価（令和3年度 前期）

- 基本目標 1** 確かな学力をはぐくみ、自ら課題を見つけ主体的によりよく解決できる力の育成をめざします
- 基本目標 2** 豊かな心をはぐくみ、健やかな身体と体力の増進に努めるたくましい人づくりをめざします
- 基本目標 3** 安心・安全で、魅力ある教育環境づくりをめざします
- 基本目標 4** 学校・家庭・地域が連携・協力し、社会全体で教育力の向上をめざします

【評価基準】 A:十分なされている B:概ねなされている C:あまりなされていない D:なされていない

基本目標	項目	評価内容	A (人)	B (人)	C (人)	D (人)	A+B (%)	A3点B2 点C1点D 0点による 達成率		
3	(1)組織的な学校運営	1 校内研修会やOJTが計画的に実施されているか。	7	3	0	0	100	90.0		
		2 自分の校務分掌について、計画・実施・反省を行い次回につなげたか。	5	5	0	0	100	83.3		
		3 学校は安心・安全な学校づくりに努めていると思えますか。	7	3	0	0	100	90.0		
		4 保育所・小学校・中学校・高校等の連携がうまく図られているか。	2	7	1	0	90	70.0		
1・2	(2)学習指導の充実	5 ロードマップに沿った学力向上対策が実施できたか。	5	5	0	0	100	83.3		
		6 学校研究の共通取組を意識して授業実践できたか。	7	3	0	0	100	90.0		
		7 朝自習や朝読書等の充実が図られたか。	6	4	0	0	100	86.7		
		8 学習規律や学習習慣についての指導ができたか。	5	5	0	0	100	83.3		
		9 家庭学習・家庭読書についての指導ができたか。	2	7	1	0	90	70.0		
		10 外国語活動の充実を図られたか。	6	3	0	1	90	80.0		
		11 道徳の授業の充実を図られたか。	4	6	0	0	100	80.0		
		12 体力向上に向けた取組(スポチャレや業間の取組を含む)ができたか。	2	4	4	0	60	60.0		
1・2	(3)生徒指導の充実	13 児童一人一人に学びの楽しさと充実感を味わわせる授業が実践できたか	1	9	0	0	100	70.0		
		14 一人一台タブレット端末を活用した授業(指導)ができたか。	6	4	0	0	100	86.7		
		15 生活目標に対して、具体的取組ができたか。	7	3	0	0	100	90.0		
		16 特別支援教育で、児童生徒のニーズに応じた支援が図られたか。	4	5	1	0	90	76.7		
		17 挨拶、ことば遣いについて指導できたか。	6	3	1	0	90	83.3		
		18 清掃指導ができたか。	4	6	0	0	100	80.0		
		19 食育を行い給食指導ができたか。	5	5	0	0	100	83.3		
		20 「いじめ」「不登校」について、予防・把握・指導ができたか。	7	3	0	0	100	90.0		
4	(4)家庭地域との協働	21 子ども一人一人に居場所がある学級経営に努めているか	4	6	0	0	100	80.0		
		22 児童理解について、共通理解が図られているか。	8	2	0	0	100	93.3		
		23 家庭・地域への情報発信(新聞、学級だより、保健・給食だより、ホームページの更新)が行われているか。	5	5	0	0	100	83.3		
		24 教職員は、地域の行事等に積極的に参加し、地域からの意見を取り入れようと(受信)しているか。	2	6	2	0	80	66.7		
		25 児童・生徒の学校行事、地域等への参加を家庭・地域に呼びかけているか。また、児童生徒は参加しているか。	2	6	2	0	80	66.7		
		3	(5)その他(職員の服務態度)	26 教職員は、互いに協力しながら児童の指導をしているか。	4	6	0	0	100	80.0
				27 教職員は、服装、髪、言動等児童生徒の模範となっているか。	3	7	0	0	100	76.7
				28 教職員は、危機管理に対する意識を持ち、有事に直ちに対応しているか。	3	7	0	0	100	76.7
29 教職員は、働き方を意識し、校務の効率化に取り組んでいるか。	2			5	2	1	70	60.0		
30 「石川の教員育成指標」による自己ステージを意識して目標をもって取り組んだか。	5			5	0	0	100	83.3		

内部評価

	課 題	改 善
項目12	・スポチャレの取組を進める。	・コロナの感染状況を見ながら、取組を進める。昨年度のように取組状況が確認できるようにして、体育担当が中心となり取組を進める。
項目29	・校務や授業準備の時間確保が必要 ・定時を超える時間設定を行わない。	・* <u>定時退校日</u> には、放課後会議を入れないようにするなどして、校務や授業準備の確保に努める。 ・ICTの利活用をさらに進め、校務の効率化を図っていく。
その他	・コロナ禍により、これまでPTA行事や地域との関わりが減少傾向にあった。今後コロナの感染状況を注視しながら、少しずつ元に戻したり方法を変えたりして工夫して実施できるように努める。	

※定時退校日

教職員の多忙化改善に向けた県内一斉の取組として、本校でも月2回以上の「定時退校日」を設定している。保護者には引き続き、理解と協力をお願いする。